

2022年度

事業計画及び収支予算書

2022年4月 1日から  
2023年3月31日まで

公益財団法人 日本体操協会

# 2022年度事業計画

公益財団法人 日本体操協会

## I 事業方針

当協会は「体操」・「新体操」・「トランポリン」・「アクロ体操」・「一般体操」・「パルクール」の各種目を統括するとともに、体操全体の振興と普及奨励を図り、依って国民の心身の健全な発展に寄与することを基本方針としている。

～目標～

～スローガン～「未来を描く、未来へ進む」

我々は今後新しい環境の中で日常の生活を送りスポーツの更なる発展を目指します。健康と生活を守り、新しい未来を自らの手で築いて行かなければなりません。そのためには、体操関係者一人ひとりが何としても明るい未来を切り開くことを強烈に思い、お互いが協力して同じ方向にベクトルを合わせて前進すること！そして一人ひとりが体操界を担っているという気持ちで取り組んでいきたいと思っております。

～2022年度の大会目標～

世界選手権 男子体操	団体総合をはじめ、複数の金メダル獲得、団体五輪出場権獲得
女子体操	団体入賞、個人総合入賞、1つ以上のメダル獲得
新体操	団体種目別メダル獲得、個人8位入賞
男子トランポリン	個人、シンクロナイズド競技でのメダル獲得
女子トランポリン	個人、シンクロナイズド競技でのメダル獲得

## II 公益目的事業の事業内容

### 1. 国際貢献事業 【定款第4条第1項2号】

(1) 国際機関への人材派遣及び国際会議・国際交流への参加

- ・現在、当協会から国際体操連盟(FIG)に5名、アジア体操連盟(AGU)に6名の役員を送り込んでおり、それぞれ、総会・理事会・評議員会・技術委員会等への参加により、世界最先端の情報を把握し、各強化本部等へフィードバックするなど国際関係の交流等に役立っている。
- ・外務省、スポーツ庁の国際交流事業として、従来より、海外からの役員・コーチ・選手等の積極的な受入合宿等を実施している。
- ・先進途上国の選手の強化支援を通じてスポーツ貢献を目指す。
- ・外務省事業による海外NF幹部の日本受入、日本人コーチの海外派遣・機械・器具譲渡等も積極的に取り組んでいる。

### 2. 競技力向上・選手派遣事業 【定款第4条第1項5、7号】

(1) アジア選手権・世界選手権大会への派遣※JGA

種別	期日	大会名	開催場所	
体操男子(一般)	10/25 ~ 10/24	第51回世界体操競技選手権大会	イギリス	リバプール
体操女子(一般)	10/29 ~ 11/6	第51回世界体操競技選手権大会	イギリス	リバプール
新体操(一般)	9/14 ~ 9/18	第39回世界新体操選手権大会	ブルガリア	ソフィア
トランポリン(一般)	11/11 ~ 11/21	第36回世界トランポリン選手権大会	ブルガリア	ソフィア
体操男子(一般)	6/10 ~ 6/20	第9回アジア選手権	カタール	ドーハ
体操女子(一般)	6/10 ~ 6/20	第9回アジア選手権	カタール	ドーハ
新体操(一般)	6/20 ~ 6/27	第13回アジア選手権	タイ	パタヤ
新体操(ジュニア)	6/20 ~ 6/27	第13回アジアジュニア選手権	タイ	パタヤ

## (2) 国際競技会への派遣(主要大会のみ)

種別	期日	大会名	開催場所	
体操男子 (一般)	6/25 ~ 7/4	2021ユニバーシアード成都大会	中国	成都
	9/6 ~ 9/17	アジア競技大会	中国	杭州
	9/20 ~ 9/26	WCCパリ大会	フランス	パリ
	9/26 ~ 10/3	WCCソンバトヘイ大会	ハンガリー	ソンバトヘイ
	2022年11月予定	スイスカップ	スイス	-
	2/20 ~ 2/28	WCコトブス大会	ドイツ	コトブス
	2/26 ~ 3/6	WCドーハ大会	カタール	ドーハ
	3/7 ~ 3/14	WCバクー大会	アゼルバイジャン	バクー
	2023年3月予定	WCカイロ大会	アゼルバイジャン	バクー
	2023年3月予定	DTBチームカップ	ドイツ	シュツットガルト
体操男子 (ジュニア)	11/23 ~ 11/28	フューチャーカップ	オーストリア	リンツ
	11/22 ~ 11/28	ボローニンカップ	未定	-
	1/24 ~ 1/30	リュウキンカップ	アメリカ	ヒューストン
	3/7 ~ 3/13	AGF Trophy	アメリカ	テキサス
体操女子 (一般)	6/23 ~ 7/4	2021ユニバーシアード成都大会	中国	成都
	9/7 ~ 9/17	アジア競技大会	中国	杭州
	未定	WCコトブス大会(種目別)	ドイツ	コトブス
	未定	WCカイロ大会(種目別)	エジプト	カイロ
	未定	WCバクー大会(種目別)	アゼルバイジャン	バクー
	未定	WCドーハ大会(種目別)	カタール	ドーハ
	未定	DTBチームカップ	ドイツ	シュツットガルト
	未定	スイスカップ&アーサーガンダー杯	スイス	-
体操女子 (ジュニア)	未定	イタリア国際	イタリア	トルナバ
	未定	カナダ国際	カナダ	未定
	11/22 ~ 11/28	ボローニンカップ	未定	-
新体操 (一般)	6/3 ~ 6/5	WCベサロ大会	イタリア	ベサロ
	4/8 ~ 4/10	WCソフィア大会	ブルガリア	ソフィア
	4/15 ~ 4/17	WCタシケント大会	ウズベキスタン	タシケント
	4/22 ~ 4/24	WCバクー大会	アゼルバイジャン	バクー
	6/23 ~ 8/21	WCCモスクワ大会	ロシア	モスクワ
	8/26 ~ 8/28	WCCクルジュナボカ大会	ルーマニア	クルジュナボカ
	9/2 ~ 9/5	WCCミンスク大会	ベラルーシ	ミンスク
	未定	モスクワグランプリ	ロシア	モスクワ
トランポリン (一般)	5/23 ~ 5/30	WCリミニ大会	イタリア	ブレシア
	6/20 ~ 6/26	WC コインブラ大会	ポルトガル	コインブラ
	9/19 ~ 9/26	WCアローサ大会	スイス	アローサ
	9/19 ~ 9/26	WCサンクトペテルブルグ	ロシア	サンクトペテルブルグ
アクロ (ジュニア)	5/12 ~ 5/16	第15回マイア・インターナショナルアクロカップ	ポルトガル	マイア
	4/14 ~ 4/17	第5回ベガスアクロカップ	アメリカ	ネバダ

## (3) 国内・海外合宿等

- ・体操男女・新体操・トランポリン・アクロ各競技種目において、ナショナル強化指定選手を中心としてジュニアを含め、NTCを中核拠点として、必要な時期に国内外合宿を実施する予定。
- ・新体操団体及び個人については、ロシアに拠点を置き、海外合宿を実施する予定。
- ・ジュニアの体操男女・新体操については、JOCの助成事業『日韓交流事業』として日本及び韓国にて合宿を予定している。(体操男女・新体操 計28名の規模:11-12月予定)

### 3. 講習会・指導者養成・資格認定・検定事業

#### (1) 審判講習会(審判委員会)

種別	研修会・講習会名	期日	開催場所
体操男子	1種審判員認定講習会および保留解除講習会	2023/1/21 ~ 2023/1/22	東京近郊
	全国代表審判員研修会/ルールクリニック	2023/1/25 ~ 2023/1/26	東京近郊
体操女子	1種認定講習会および保留解除講習会	2023/1/28 ~ 2023/1/29	未定
	ルールクリニック	2023/2/25	未定
	全国代表審判員研修会	2023/2/26	未定
新体操	全日本審判研修会兼ブロック部員・高体連・中体連ブロック長研修会	2022/10/27	高崎アリーナ
	1種認定審判員講習会および保留解除講習会	2023/1月	未定
	全国審判研修会	2023/2月	東京・名古屋・福岡
トランポリン	1種審判員認定講習会および保留解除講習会	2023/2/11 ~ 2023/2/12	未定

#### (2) 各種研修会(コーチ育成委員会)

種別	研修会・講習会名	期日	開催場所
体操(男女)	公認コーチ養成講習会(専門科目)	2022/12月下旬	未定
	東ブロック指導者・選手講習会	2023/1月下旬	未定
	西ブロック指導者・選手講習会	2023/2月初旬	未定
	強化本部ブロック合宿(義務研修会)	2023/2月初旬	未定
新体操	公認コーチ養成講習会(専門科目)	2022/12月中旬	国立オリンピック青少年総合センター
トランポリン	トランポリンコーチ認定講習会	2022/4/1 ~ 2023/3/31	全国各地
	トランポリンコーチ育成部会議	2022/5/29	未定
	養成講師認定講習会	2022/12/3 ~ 2022/12/4	未定
	公認コーチ養成講習会(専門科目)	2022/12月下旬	未定

#### (3) 器械・器具検定事業

検定種別	加盟社数	
・検定品登録会社検定	6社	
(内訳)	1種	1社
	2種	4社
	3種	1社

### 4. 競技会等開催事業 [JGA主催] 【定款第4条第1項6,8,9,15,18号】

#### (1) 国内競技会

種別	期日	大会名	開催場所	
体操競技	4/21 ~ 4/24	第76回全日本体操競技選手権大会(体操天皇杯第76回全日本体操個人総合選手権)	東京都	東京体育館
	5/14 ~ 5/15	第61回NHK杯体操	東京都	東京体育館
	6/17 ~ 6/19	第76回全日本体操競技種目別選手権大会(第76回全日本体操種目別選手権)	東京都	東京体育館
	12/10 ~ 12/11	第76回全日本体操競技団体選手権大会	福井県	サンドーム福井
新体操	4/16 ~ 4/17	2022新体操日本代表選考会	群馬県	高崎アリーナ
	5/20 ~ 5/22	第20回全日本新体操ユースチャンピオンシップ/第13回男子新体操団体選手権大会	東京都	東京体育館
	10/27 ~ 10/30	第75回全日本新体操選手権大会	群馬県	高崎アリーナ
	11/18 ~ 11/20	第40回全日本ジュニア新体操選手権大会	群馬県	高崎アリーナ
トランポリン	5/21 ~ 5/22	第9回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会	群馬県	ヤマト市民体育館前橋
	6/17 ~ 6/18	第36回世界トランポリン競技選手権大会日本代表選考会	東京都	東京体育館
	7/29 ~ 7/31	第8回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会	大阪府	熊取町立総合体育館ひまわりドーム
	10/15 ~ 10/16	第59回全日本トランポリン競技選手権大会	鹿児島県	西原商会アリーナ
一般体操	11/23	2022日本体操祭	東京都	国立代々木競技場
パルクール	未定	第3回パルクール日本選手権	未定	

#### (3) 地域関連事業

- ・地域委員会として、『ビジネススクール』及び『U-12体操競技会』の更なる充実に取り組む。
- ・男子新体操の国体参加について、全国の関係者と協議しながら、トランポリンを絡めた対策を検討していく。
- ・障がい者児童を対象にした体操教室の普及を図り、将来的に障がい者スポーツ大会への参加を検討

(4) 体操スクール事業

- ・体操及び社会体育の普及、振興を目的とした体操教室の運営。
- ・会員数約200名、2歳より中学生まで年齢別のクラス編成とし、3学期制で運営。
- ・課外事業として、キャンプ教室、体操教室、水泳教室、スキー教室、日帰り遠足等を実施する。
- ・オリンピックとの交流を通じて組織拡大へのアプローチを図る。

5. 顕彰事業 【定款第4条第1項13号】

- ・毎年度、次の内容を『協会三賞』として、年度末に表彰を行なう。

名称	顕彰内容
平沼賞	長年にわたり、極めて顕著な功績のあった者及びオリンピック大会、世界選手権大会の個人総合で優勝した者に贈る。
功労賞	長年にわたり、本会の発展に尽くし、著しく功績のあった者に贈る、
栄光賞	国際競技会または本会主催の競技会で特に優秀な成績を収めた者に贈る。

- ・年間優秀選手等表彰  
最優秀選手賞、優秀選手賞、優秀指導者賞および特別賞を授与する。

III 収益事業

1. マーケティング事業 【定款第4条第1項17項】

財政基盤の確立を図るために行う様々なマーケティング活動を展開する。

- ① オフィシャルサプライヤー契約
- ② オフィシャルパートナー契約
- ③ オフィシャルスポンサー契約
- ④ その他

2. 出版物販売事業 【定款第4条第1項16項】

各種競技の採点規則をはじめ、下記の出版物等を刊行・販売を行なう。

- ① 体操競技: 男女体操競技採点規則、男女ジュニアトレーニングマニュアル他
- ② 新体操: 男女採点規則、新体操教本、ステップアップ新体操他
- ③ トランポリン採点規則、トランポリンコーチ教本、公認トランポリン普及指導員教本
- ④ その他 審判バッジ、協会カレンダー、新体操大会DVD他

以上

## 2022年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

公益財団法人日本体操協会

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I. 経常増減の部			
1. 経常収益			
①基本財産運用益	0	0	0
②登録料収入	57,560,000	56,260,000	1,300,000
③事業収入	707,235,970	983,918,370	▲ 276,682,400
研修・講習会等収入	37,531,300	65,129,000	▲ 27,597,700
協賛金収入	348,245,000	503,190,000	▲ 154,945,000
刊行物収入	18,000,000	20,000,000	▲ 2,000,000
用具公認検定料	4,500,000	5,600,000	▲ 1,100,000
入場料収入	45,295,000	120,861,700	▲ 75,566,700
広告料収入	5,838,000	5,867,600	▲ 29,600
放映権収入	177,606,670	186,736,670	▲ 9,130,000
参加料収入	39,410,000	45,424,400	▲ 6,014,400
物品・プログラム収入	3,040,000	2,809,000	231,000
入会金・月会費収入	27,770,000	28,300,000	▲ 530,000
④補助金等収入	591,464,000	794,588,000	▲ 203,124,000
JOC選手強化NF事業	425,713,000	279,366,000	146,347,000
スポーツ振興基金助成金	20,000,000	9,000,000	11,000,000
スポーツ振興くじ助成金	55,751,000	404,722,000	▲ 348,971,000
JSC次世代ターゲット事業	80,000,000	84,000,000	▲ 4,000,000
文部科学省 IF役員支援	10,000,000	17,500,000	▲ 7,500,000
⑤交付金収入	41,000,000	1,254,500,000	▲ 1,213,500,000
JOC選手強化交付金	28,000,000	37,000,000	▲ 9,000,000
上月財団	4,000,000	4,000,000	0
ミズノスポーツ振興財団		1,000,000	▲ 1,000,000
三菱養和会	1,000,000	1,000,000	0
その他	8,000,000	1,211,500,000	▲ 1,203,500,000
⑥負担金収入	8,360,000	8,720,000	▲ 360,000
⑦受取利息			0
⑧雑収入		280,000	▲ 280,000
経常収益計	1,405,619,970	3,098,266,370	▲ 1,692,646,400
2. 経常費用			
事業費			
①給料手当	114,660,000	77,028,000	37,632,000
②福利厚生費	11,768,400	9,240,000	2,528,400
③退職給付費用	2,898,000	3,108,000	▲ 210,000
④旅費	616,804,100	668,185,690	▲ 51,381,590
⑤諸謝金	83,857,000	81,372,000	2,485,000
⑥雑役務費	169,431,620	1,364,503,485	▲ 1,195,071,865
⑦表彰・記念費	7,990,000	31,995,919	▲ 24,005,919
⑧借損料	99,891,747	176,233,751	▲ 76,342,004
⑨通信運搬費	21,784,740	8,032,173	13,752,567
⑩消耗品費	25,332,040	169,037,238	▲ 143,705,198
⑪印刷製本費	19,691,850	89,163,720	▲ 69,471,870
⑫会議費	16,244,000	22,100,000	▲ 5,856,000
⑬水道光熱費	340,000	229,500	110,500
⑭保険料	9,253,900	8,854,297	399,603
⑮租税公課	30,036,000	30,036,000	0
⑯支払手数料	2,350,000	7,563,023	▲ 5,213,023
⑰支払補助金	6,280,000	7,180,000	▲ 900,000
⑱外注費	121,050,540	62,187,990	58,862,550
⑲交際費	120,000	400,000	▲ 280,000
⑳参加費	4,454,600	8,222,520	▲ 3,767,920
㉑雑費	93,359,410	201,685,360	▲ 108,325,950
㉒什器備品費	60,000	65,000	▲ 5,000
㉓支払賞金	3,000,000	7,350,000	▲ 4,350,000
㉔会費	50,000	50,000	0
事業費計	1,460,707,947	3,033,823,666	▲ 1,573,115,719

管 理 費			
①給料手当	21,840,000	14,672,000	7,168,000
②福利厚生費	2,241,600	1,760,000	481,600
③退職給付費用	552,000	592,000	▲ 40,000
④交際費	180,000	600,000	▲ 420,000
⑤通信運搬費	1,375,000	900,000	475,000
⑥旅費交通費	270,000	270,000	0
⑦賃借料	5,500,000	4,700,000	800,000
⑧租税公課	84,000	84,000	0
⑨消耗品費	1,890,000	855,000	1,035,000
⑩印刷製本費			0
⑪会議費	3,900,000	3,900,000	0
⑫水道光熱費	60,000	40,500	19,500
⑬保険料	80,000	80,000	0
⑭什器備品費		35,000	▲ 35,000
⑮会費	600,000	600,000	0
⑯支払手数料	850,000	1,350,000	▲ 500,000
⑰支払報酬	4,300,000	2,900,000	1,400,000
⑱外注費	5,200,000	2,400,000	2,800,000
⑲雑費	30,000	30,000	0
管 理 費 計	48,952,600	35,768,500	13,184,100
経 常 費 用 計	1,509,660,547	3,069,592,166	▲ 1,559,931,619
当期経常増減額	-104,040,577	28,674,204	▲ 132,714,781
Ⅱ. 経常外増減の部	0	0	0
1. 経常外収益	0	0	0
2. 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	-104,040,577	28,674,204	▲ 132,714,781
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
正味財産期末残高	866,033,080	792,335,444	73,697,636